

これがブッシュのやり方だ

イラクでは市民虐殺を続けている。

人道援助の代わりに、海兵隊と空母を派兵。

スマトラ沖大地震・津波被害は空前のものとなっています。死者は15万人を超え、被災者は500万人に上っています。被災地は「復興」どころか、水不足、食糧不足、伝染病の蔓延の危険等でますます被害を拡大しています。人類の英知が試される時です。ところが、アメリカは、微々たる援助しか出さず、何とこの災害をアジアでの恒常的な米軍駐留・パトロールのために利用しようというのです。日本も自衛隊を派兵して事実上米軍の指揮下にはいり、海外での日米共同演習を進めています。そして米軍はイラクでは、「武装勢力」掃討と称した民間人の大虐殺を行っています。ブッシュ大統領はイラク戦争をいまずぐやめるべきです。軍事的・政治的思惑を排し、惜しむことなく当事国と現地被災者が必要とする援助をすべきです。



イラク戦争
死者10万人
米軍が使った戦費
1500億ドル



津波被災・被害
死者15万人
米の「人道援助」
3.5億ドル



米の津波被害「援助」はイラク戦費の2日分

* 開戦からのイラク戦費1500億ドルは National Priorities Project <http://www.costofwar.com/>による。ニューヨークのタイムズスクエアに「戦争コスト時計」があり、戦費は一日当たり1億7700万ドル、1時間当たり740万ドルで増え続けている。15万人が死亡したスマトラ被災への米の援助3.5億ドルは、10万人を殺した米のイラク戦争の費用の1/420、たった2日分にすぎない。(2005.1.16.)